

2010年11月8日
明治安田生命保険相互会社

アブリスト社（インドネシア）への出資および同社との業務提携について ～国内生命保険会社初のインドネシアの生命保険事業進出～

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 松尾 憲治）は、インドネシアの生命保険会社「PT Avrist Assurance」（以下「アブリスト社」）に対して、5%の資本参加を行なうとともに、同社と戦略的な業務提携を行なうことで合意しました。日本の生命保険会社がインドネシアの生命保険会社へ出資するのは、当社が初めてとなります。

当社は、国内生命保険市場における強固な事業基盤に加え、当社グループの持続的成長の促進と事業ポートフォリオ多様化の観点から、海外保険市場への展開強化を検討してきました。2億4千万人（世界第4位）の人口を抱えるインドネシアの生命保険市場は、近年成長を続けており、将来的にも大きな発展が見込まれています。今般の出資および戦略的業務提携は、グローバル化が進展する保険マーケットにおいて、当社の持続的成長の実現に向けて実施するものです。

当社は、長期的な戦略的パートナーとしてアブリスト社への役員および主要部門への従業員派遣を行なうなど戦略的な業務提携を行なうことで、アブリスト社と協働での業容拡大へ向けた取組みを強化していきます。また、今後の市場動向や業容拡大に応じた出資比率の引上げも視野に入れています。

当社は、1976年に日本の生命保険会社として初めて米国に進出し、Pacific Guardian Life Insurance Company（パシフィック・ガーディアン生命）に経営参加しました。その30年以上に渡るノウハウを活用しつつ、先般のドイツTalanx AG（タランクス社）との戦略的提携も含め、今後も成長戦略の実現に向けた海外保険市場進出への取組みを強化していきます。

出資先および業務提携の概要は次頁のとおりです。

1. 出資先概要

アブリスト社は、個人保険分野および団体保険分野で幅広い商品ラインナップをそろえ、エージェント、金融機関窓口販売等を通じて、インドネシア国内で100万人以上の顧客にサービスを提供しています。1975年設立のアブリスト社は、2010年9月30日現在、総資産約910億円の規模まで成長し、営業拠点数43、エージェント数4,000人以上、従業員500人を抱える、インドネシアの主要生命保険会社の1つとなっています。

会社名	PT Avrist Assurance	
設立・沿革	1975年 PT Asuransi Jiwa Ikrar Abadiとして設立 1984年 PT Asuransi AIA Indonesiaに社名変更（AIAの60%出資に伴い変更） 2009年 PT Avrist Assuranceに社名変更（AIAの持分60%売却に伴い変更）	
本社所在地	インドネシア・ジャカルタ	
従業員数	500名<2010年9月末>	
営業拠点数	43<2010年9月末>	
資本金	45億ルピア（約4,500万円）	
主要指標	収入保険料	1兆4,345億ルピア（約141億円）<2009年>
	当期純剰余	1,383億ルピア（約13億円）<2009年>
	総資産	7兆4,319億ルピア（約732億円）<2009年12月末>

※100ルピア=0.9854円<2009年12月末レート>で換算

2. 業務提携概要

戦略的な業務提携を行なうことで、アブリスト社と協働での業容拡大に取り組みます。

概要は以下のとおりです。

- ・アブリスト社の経営監督委員会（コミサリス会）^(注1)へ役員1名を派遣
- ・団体保険市場等の協働開拓
- ・アブリスト社へ事業協働のための人材を派遣

当社としては、アブリスト社との協働による業容拡大だけでなく、AIAとの合弁時代を含め培われたアジアにおける保険事業経営のノウハウ（個人保険販売・団体保険販売・金融機関窓口販売の各チャネルの経営手法、タカフル保険事業^(注2)等）を取得するとともに、アジア保険事業に精通した人材の育成を図っていく考えです。

（注1）コミサリス（Komisaris）会：オランダ商法の監査役（Commissaris）に由来。インドネシア会社法上、設置が義務付けられており、会社の経営について取締役会の方針を監督し、アドバイスを与えることが職務とされています。

（注2）インドネシアは、2億人を超える世界最大のイスラム人口を有しています。

3. 出資概要

出資先	PT Avrist Assurance
出資割合	5%（225株）
出資時期	2010年11月

以上